

ハスの実だより

社会福祉法人
ハスの実の家
12月号
2020年・No. 472

〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2 TEL (0776) 78-6743 FAX (0776) 78-6744 Eメール honbu@hasunominoie.com

いい天気!!



主な記事

- 2 ★すくらむ
- 3 ★なかまのページ
- 4~5 ★特集記事：～仲間たちの夢をかたちに！～
- 6 ★家族のページ
- 7 ★職員のページ 上出日出幾 橋高 幾子
- 8 ★交差点
- 9 ★今月のにやりホッと
- 10 ★ムーブ
- 11 ★物品深謝 ★ご寄付深謝
- ★お知らせ等
- 12 ★読者クイズ ★あとがき



あくらぶ



初めてハスの実を訪れたのはおよそ十年前。当時、障害者自立支援法が成立した後で、その課題を具谷さんに尋ねるために伺ったと記憶している。

最初の印象は「あ、この人もNFL好きなのかな」だった。NFLとはアメリカンフットボールという競技の米国のプロリーグのこと。私は昔からこのスポーツが好きで、具谷さんはどこかのチームのロゴの入ったスウェットを着て現れた。

そのときの話の内容は忘れてしまったが、非常に共感したことだけ覚えている。それ以来誘い、誘われる付き合いが始まった。何度となく飲み会に誘っていただき、片町のフォーク酒場(?)にも連れて行っていただいた。電話も幾度もいただいた。常に「社会」を念頭に置きながら福祉の現場に向き合っている姿勢を感じ、その情熱に毎回とても心動かされた。

一度、具谷さんに誘われて、東京・日比谷公園で行われる自立支援法の反対集会と国会議員への陳情に行くバスに同乗したことがある。いわば政治デモなのだが、なんだか楽しかった。ワイワイ、ガヤガヤ。まるで遠足のような記憶だ。「仲間」という言葉も、このとき教わったよ

うな気がする。

あるとき、私の先生から、「差別」の反対は「尊敬」だと教わったことがある。そして「尊敬する」とは、実際は「普通に接すること」であると。そのとき、具

普通に接する

日刊県民福井記者 藤 共生

谷さんの姿が思い浮かんできた。具谷さんは仲間と接する際、冗談をまじえてにこやかにコミュニケーションをとる。そんな姿を見る度、私はとても新鮮な思いがした。「普通に」というのは意識してで

きることはない。差別が人から人へと伝染していくように、尊敬も誰かから誰かへ引き継いでいくものなのだろう。具谷さんの振る舞いに、ハスの実の歴史を感じる。

今年からはハスの実の地域生活支援センターを拠点に集まる「みんなでかたろうかい」に参加させていただいている。そこで職員さんやハスの実の心を寄せる人と出会わせていただき、言葉の端々から学ばせていただいている。この会に参加すると、最初に具谷さんに出会ったときの雰囲気、場にも、人にも感じる。場が人を育て、そして人が場を育てる。そんな循環を感じる。そして私もその輪に加わっていききたい。これからもよろしくお願いします。





かみすきはんのしごと

かんづつにゆうパッキングかんぞ



はがし
ファイル
ム



はがしたものをかんぞつ



をちぎる
かんぞつしたものを



はがきをすすく



ハガキ完成!!

す。
つくていま
かんぱつ
かんぱつ
かんぱつ
かみすきは

郵便局

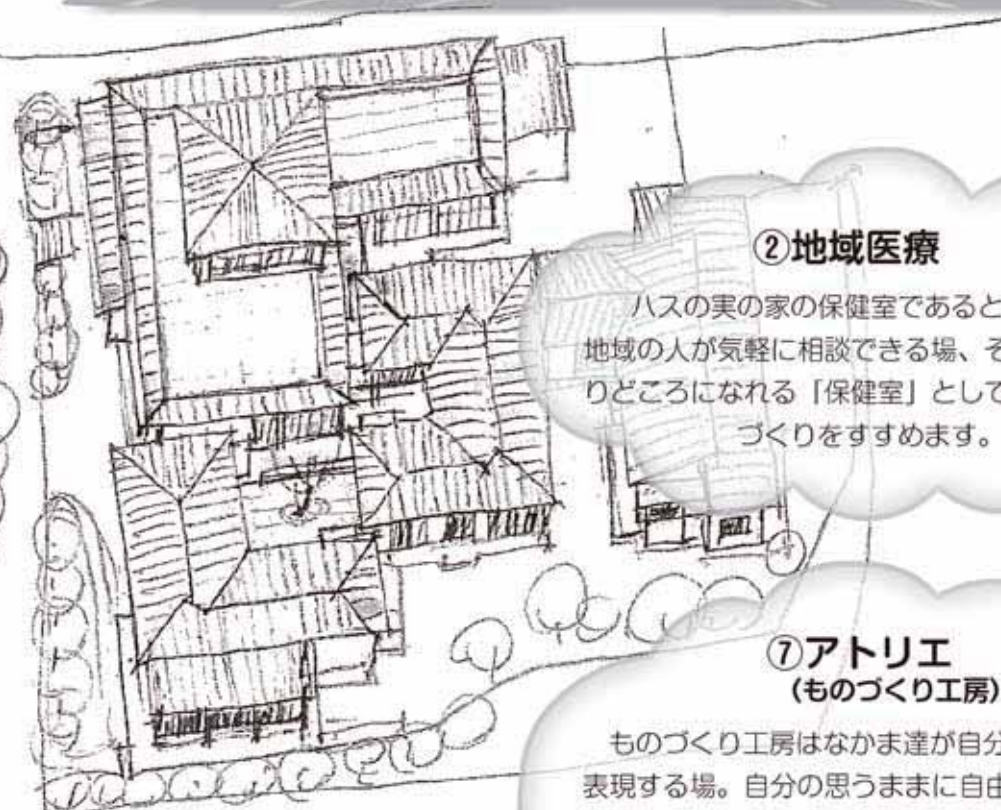
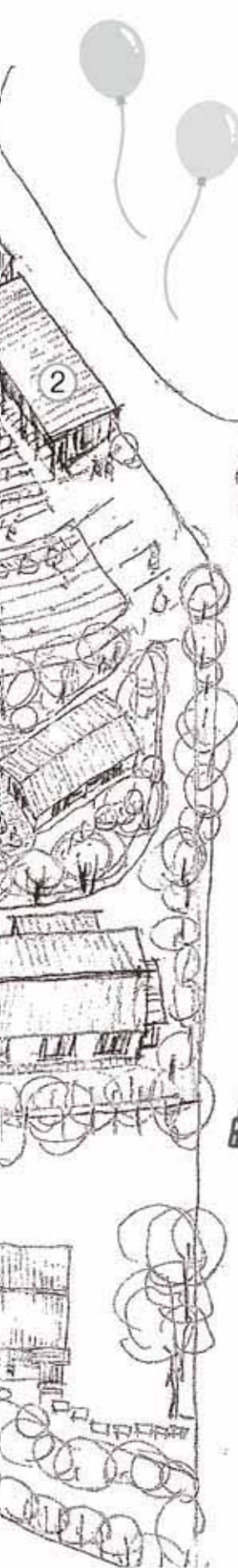


施設整備事業第2期工事⇒2020年11月着工～2021年7月完成（予定）

『地域交流・仲間たちの表現する』を真正面に据え、挑戦する「保健・文化交流センター」

ここは、アーカイブ室を備えた法人本部をはじめ、障害の程度、支援する、される関係をひとまわり超えた、『地域交流・仲間たちの表現する』を真正面に据え、挑戦する新しいゾーンです。

来年7月のOPENを目指して、今年1月から各事業・部署ごとに「夢プラン」協議を進めています。仲間たち、訪れる誰もが幸せの価値を膨らませる…そんな空間を創ります。（ぐたにゆうじ）



②地域医療

ハスの実の家の保健室であるとともに、地域の人が気軽に相談できる場、そして心のよりどころになれる「保健室」としてさらに健康づくりをすすめます。

⑦アトリエ (ものづくり工房)

ものづくり工房はなかま達が自分をアートで表現する場。自分の思うままに自由な表現を楽しむ場。そして、一人のアーティストとして活動する場。なかま達の挑戦から生まれる新しいハスの実を私たちは創ります。

★ ⑥遊びの広場

「フラワーガーデン」「広場」「畑」をメインの要素として、仲間と職員、地域の方々がみんなで作られる遊び広場を目指します。傾斜地であることを活かし、地域への玄関口として、人目を惹く仕掛けを施していきます。



～仲間たちの夢をカタチに！～

①法人本部

「法人の窓口」「仲間、職員を守る」「地域からの信頼」を軸に、仲間・家族・職員・後援会・地域の方々のすぐ近く存在を目指し、誰もが訪れやすい場所をめざします。また、困ったり悩んだりしたときには相談できるなど、法人内外の人と人をつないでいきます。

③アーカイブ室

ハスの実の家の歴史や、様々な資料などを訪れた方が自由に探せます。また、企画・テーマ展なども考えていきます。ゆっくりとできる空間をめざします。

④ギャラリー

可能性を秘めたなかま達の作品を魅力いっぱい展示するギャラリー。
観る人に癒しやパワーを与える不思議な空間を興味関心ある応援者とともに創ります。
また、地域交流の場としても活用します。

⑤野外ステージ

仲間や地域の方が音楽やダンス、落語、劇、あそびなど本格的な空間で自由に表現する場をめざします。合唱団やバンド、劇団に来ていただいたり、合同のイベントを企画したり、今まで以上に「文化」を通して地域とつながる機会を創ります。

家族のページ

～仲間への想い～

生活の中心 『ハスの実パン工房』



お母さんより

鈴木紀子さん
(裕司さん母)

パン工房でお世話になってる鈴木裕司です。パン工房オープンから23年になります。今はパン工房での時間が生活の中心になっています。てんかん発作があり、毎日薬を飲んでいますが、最近は体調も安定し、休むことも減りました。お給料も皆勤賞を頂く回数が増え、喜んでいきます。「今月も皆勤賞もらった」とお給料袋を見せてくれます。

パン工房の仕事は、職員さんや仲間達と話し合っ、予定を決めているようすが、予定が変わることがあると、その事がとても気になって、少し落ち着きがなくなるようです。この事に関しては、職員さんに予定の確認等で配慮してもらい、少しでも落ち着いて仕事ができるように対処してもらっています。「パン工房大好き」、「仕



子どもの頃の鈴木さん

事大好き」な思いはこれからも持ち続けていってほしいと思います。

息子は今年の5月で、42歳になりましたが、生後2か月、11歳、12歳と3回の大きな手術を受けました。今、元気にパン工房へ通える日を送れているのは、今も、そしてこれまでの日々を、多くの人達に支えて頂き、また、応援もして頂いたおかげとお礼です。そして本人なりの頑張りもあってのものだと思っています。これから、仲間、職員の皆様と一緒にパン工房で頑張っていくと思います。どうぞよろしくお願致します。

班職員からの一言

毎回皆勤賞を取り、休みなく出勤されている鈴木さん。とても仕事に熱心で自分で予定表を書き込み、見通しを持ちながら毎日仕事に励まれています。新しい仕事にもどんどん挑戦していく姿はとてもしっかりい



今も昔もパン工房が大好きです



職員のページ

【所属】 地域生活支援センター センター長
法人本部 企画部部長

上出日出幾



前職のことですが、社会人になって3年程、同じ仕事の繰り返しに虚しさを感じ、なんのために働いているのかを考えていました。そんなとき営業で通っていた金沢の知的障害者施設の坂道を登っていくと、いつも丘の上から手を振ってくれる男性利用者の方がいました。私も手を振り返し「こんな生き方いいよね。」と思えるようになりました。

働いてお金を頂くこと、だれかの役に立てることは尊いこと。でも、それ以上に「生きてる感」とでも申しましょうか、今生きていることを実感できることがヒトとして大切だと、丘の上の彼が気づかせてくれ肩がスッと軽くなったのです。

花の香りを運ぶ風を感じ、大きな声で仲間とうたい、夕日を見送り星空を見上げる、「あ～生きてる！」

その後縁あってハスの実の家で働き、肩が軽くなったあの頃の感覚をいつも感じています。

「生きる意味」を考える人が増えていると聞きます。ここを訪れた人が「生きてる感」の大切さに気づける場所になったらと、現在、施設整備事業（夢プラン）を進めています。一緒にそんな場所創りをしませんか。

【所属】 ユニットホーム あおぞら
生活支援員 チーフ

橘高 幾子



ハスの実で働き始めて早いもので4年が過ぎました。

福祉の経験も知識もなく、しかも高年齢？で入職しました。わくわくセンターに5か月、その後、あかつきホームからあおぞらホームに移動し2年目です。あかつきホームの静けさからあおぞらホームの賑やかさは、想像を超えるものがあり、最初は戸惑い悩み落ち込み…先輩職員の方々や世話人さんに支えられて、今は楽しんで仕事ができています。

日常生活では、「嵐」大好き娘に振り回されて、結構楽しんでます。今年いっぱい休止するので「嵐ロス」が心配ですが…



交差点 後援会

お買い得! カワモトの昆布

お正月の準備に! まだ間に合います。 12月中は全品

10% OFF



早煮昆布
100g 600円



根昆布入りとろろ
65g 500円



贈答用詰合せ
「雅」 5,000円
「海からの便り」 3,000円

根昆布入りとろろ (65g 500円)
おやつ昆布 (65g 500円)
赤しそごはん (80g 500円)
ひじきごはん (60g 400円)
カットわかめ (30g 500円)
わかめスープ (60g 400円)
板わさごまサンド (135g 500円)
などの商品も扱っています。

後援会では、北前船のカワモトさんのご協力を得て昆布商品を販売しています。収益はハスの実の家の仲間のために使われます。ご近所やお友達とまとめてお求めください。

お求めはわくわくセンターまで TEL 0776-78-7750

あわら市と坂井市の文化祭に参加

10月31日、11月1日に開催された5か所の文化祭で、地域生活支援センターを中心に、地域の中でのハスの実の家の取り組みを紹介するパネル展示を行いました。展示物の写真の貼り付けやイラスト、装飾等は仲間にも手伝ってもらって完成させました。



継続会員・新入会員の皆様です
ありがとうございます

10・11月度

*印は新入会員の皆様です。順不同、敬称略。

- あわら市 籠谷光男・奥 清子・*大城律子・堂下満栄・藤田良二郎・
富田登貴子・深見和子
坂井市 田中康博・粟津俊明・南 知子・データシステム(株)・玉村洋子・
倉内美幸・田嶋安希子・日元久勝・近藤守人・坪田洋子・木谷敬一・
木谷栄子・*坂井里穂
福井市 芦野暎子・玉崎美幸・坪田博子・森 透・小林寿一・広部英幸・
柴田商会・前川愛子・株式会社Copanda 代表取締役 里 裕一・
*要川憲彦・*要川徳子

- 越前市 西ヶ花清美・川端ようこ
石川県 島 隆雄
愛知県 峰島 厚・久田隆章
兵庫県 尾崎正治
大阪府 土井睦浩・永田亮二
東京都 藤井健太・河合隆平
富山県 川口 宏

今月のにやりホッと

「できること」「したいこと」を支援していく

今回は、明菜さんについて記します。明菜さんは、表情や感情表現がとても豊かな方です。しかし、自分の思いを口にすることが苦手な一面があり、言葉にできない不安からか、行動が不安定になって仕事や食事・入浴までも拒否することがあります。こんなときは明菜さん自身も困っているのですが、対応する職員もどうすればよいか悩んでいました。

より良い支援をしていくため、ホーム会議の中で明菜さんのことを話し合う時間を設けました。その結果、「集団の取り組みになかなか参加しないから集団行動が苦手なのだろうって思っていたけど、そういえばコンサートの時は、一番前のど真ん中に立って、いきいきと歌っていたよね。興味のあることには意欲的だし、実は集団が苦手というわけではないのかも？」などと、一見すると本人の苦手とすることも、見方を変えると実はそうではなかったという「気づき」を、ホーム職員で共有することができました。そこで、まずは本人の「できること」「したいこと」を本人の意思を尊重しながら支援し、「できたこと」は大袈裟なぐらい褒めて、明菜さんの自信を育てよう！という支援の方向性が決まりました。

支援を始めて1ヶ月程度が経ちますが、早くも明菜さんに少しずつ変化が見られています。その1つを紹介します。ユニットホームでは現在、厨房が工事中の為、わくわくセンターの厨房まで食器を下膳しなければなりません。そこで、毎朝わくわくセンターへ出勤するときに仲間たちに下膳の手伝いをお願いしているのですが、明菜さんもお手伝いの役割を積極的に担ってくれています。その姿はまるでコンサートの時のようにいきいきした姿だとホーム職員も喜んでます。みんなより歩くペースが少し遅い仲間がいたら、何度も後ろを振り返りながらペースを合わせてあげるなど、他の仲間を気に掛けることのできる明菜さんの優しい一面が見られるそうです。

仲間の「困った行動」も、見方を変えればストレンクスとなり、新たな支援の方向性も見えてくるかもしれません。明菜さんも、役割・出番が増えて、「認められる実感」を積み重ねることで、少しずつ喜びと自信につながってきているのだと思います。明菜さんにある「他の仲間を思いやる優しい気持ち」を大事にし、これからも本人の意思と発達を尊重した支援を検討していきます。



共同生活援助事業 主任 阿部 晃三

ハスの実☆発信!! ハスの実の家よりお知らせ!

長年交流を続けている北陸高校女子バレーボール部の皆さんから、県大会優勝の報告が届きました

先日は、応援ありがとうございました。

たくさんの応援のおかげで、優勝という最高の結果を残すことができました。こうして良い報告ができることを嬉しく思います。

ハスの実の家のみなさんと交流することで、コミュニケーションをとることの大切さや、自分たちが何不自由なくバレーボールができていたことのありがたさを学ぶことができました。そのおかげもあり、チームが一致できたことを自負しています。今年は、コロナウィルスの影響により、ハスの実の家に向うことはなかなかできませんでしたが、いつも、ハスの実の家のみなさんにたくさん応援していただいていることを力に変えて戦うことができました。

しかし、ここがゴールではありません。自分たちの目標は、「春高で勝つこと」です。その目標を達成できるように2ヶ月後の春高に向け精一杯頑張っていきます。引き続き応援よろしくお願いします。



北陸高校女子バレーボール部の皆さん

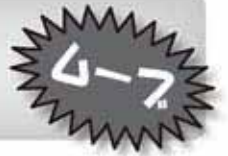


仲間の仕事体験交流会
(2019年11月 農耕班の畑にて)

県大会優勝
おめでとう!
春高バレーも
ガンバレ!
応援して
います。



第44次 国会請願署名のご協力依頼



わたしたちハスの実の家は、障害のある人たちが働く事業所・グループホーム・居宅介護事業所・相談支援事業所などを中心とした全国で約2000カ所の会員からなる「きょうされん」に加盟をして、日頃から障害のある人たちのくらしをゆたかにするための制度の拡充を求め、政策提言や要求活動、研修活動などを続けています。

障害者権利条約は、2006年12月13日に国連総会にて採択され、我が国は2014年1月20日に批准をしました。国内の法制度や社会全体の意識が一度に変化することはできませんが、今年も、きょうされんは障害のある人たちが『あたりまえに 働き えらべる くらしを』の実現を目指し、粘り強く取り組みを広げています。

しかし、現在の障害分野では、ここ数年、成果主義が強められ、就労系事業所では平均工賃の高い事業所がより多くの報酬を受け取る等、生産性や目に見える成果のみを評価した報酬体系となりました。障害者権利条約に掲げられた、障害のある人が障害のない人と同等に生きることのできる社会を実現するためには、日本の障害福祉関連予算を、せめてOECDの平均並に引き上げることが、欠かすことのできない優先課題です。ぜひともこのような状況をご理解いただき「きょうされん第44次国会請願書名・募金運動」にご支援とご協力を賜りたく心よりお願い申し上げます。

また新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、楽しみにしていたふるさとへの帰省を控えようと思っている方も多いかと思います。こんな時は離れて暮らす家族や友人に久しぶりに手紙でも書いてみてはいかがでしょうか。中には署名用紙を添えて…。最近ではスマートフォンやパソコンで気軽にメッセージを送り合えますが、たまには手書きで気持ちを伝えるのはいいものです。

署名用紙はお近くにお越しの際にお持ちいただくか、もしくは同封の返信用封筒をお使いいただければ幸いです。

今年も、皆様の一筆を大切に、国会へ届けたいと思います。ぜひご協力お願いいたします。もし、署名用紙が足りなければ、ご連絡お待ちしております。

【お問い合わせ先】 社会福祉法人 ハスの実の家 組織・地域づくり委員会
担当者：阿部 晃三 電話 0776-78-6743

きょうされん2020年度 11月5日(木) 第9回利用者部会オンライン支部代表者会議

きょうされん第9回利用者部会オンライン支部代表者会議に地域支援センターハスの実地域連携室から参加しました。福井支部からは、会長の優作さん（ハスの実の家）と書記の節子さん（同）が出席しました。

始まりの挨拶では、きょうされん専務理事 藤井克徳さんから、コロナ禍の中、障害がゆえに感染予防が難しい人や、外出規制に伴うストレスなど不安な日々を送っている全国の仲間たちの現状を含めた情勢報告がありました。

続く意見交換会では、会長の優作さんが「コロナで日中活動に來られない日があり、皆と会えなかったことが寂しかった」と、発言し、全国の仲間たちの共感を呼んでいました。

この度、きょうされんは「新型コロナウイルス感染症に係る障害のある人に関する要望書（第7次）」を厚生労働大臣に提出しました。この要望書は、利用者部会が全国のきょうされん加盟事業所に「コロナに関するアンケート」を実施し、仲間たちの切実な要望をまとめたものです。上述したように、障害のある仲間たちはコロナ禍においてたいへんな苦痛を強いられています。一刻も早くこの要望書の内容が国に届き、仲間たちが住みやすい社会制度に変わっていくことを願います。

福井支部利用者部会担当 河野美枝子

物品深謝

10・11 月

順不同お許しください

宇野嘉英様、出店定男様、平田英樹様、浜内清隆様、
山岸嘉郎様

ご寄付深謝

10・11 月

順不同お許しください

ハスの実の会（後援会）

勘東馬場広治様、芦野暎子様、土井睦浩様

4,000 円

新職員紹介

所属 グループホームアルバイト
金場 優史



この施設で仲間たちと一緒に過
ごし始めて 4 カ月が経ちました。は
じめは不安なことや分からないことばかりでしたが、
職員の方々の助けもありながら、仲間たちの好きな
ことやしてほしいことが少しずつ分かってきて、今
ではこの仕事にとってもやりがいを感じています。こ
れからも仲間がより過ごしやすくなるように頑張っ
ていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

所属 就労支援事業
生活支援員 折原 弘嗣



8 月より農耕班でお世話になっ
ております。

現在は、ふくい園芸カレッジでミディトマトをメ
インにマルセイユメロン、ニンジン、大根の栽培研
修をしながら農業の勉強をしております。

就労支援の仕事は初めてで戸惑ひもありますが、
諸先輩方のご指導のもと、日々頑張っております。

今後とも先輩方のご指導、宜しくお祈ひ致します。

おたよりコーナー

後援会会員様よりご感想を頂きま
した。ありがとうございます。

いつも会報をありがとうございます。
皆さんの笑顔が素
晴らしいですネ。頑張っ
て下さい。 M 様

障害のある人もない人もお互い
に尊重し合っ
て一緒に日々をおく
ることが当たり前の社会になりますよ
う願っています。 T・M 様

スタッフの皆さま、コロナ禍の
中、気が休まらない日々をお過ごし
のことと存じます。お体ご自愛いた
だきますようお願いいたします。 D 様

みなさん、健康に気
をつけてがんばっ
て下さい。
応援しています。

玉崎美幸 様

退職の お知らせ

- 奥原恵子さん
世話人
- 南出 修さん
支援員
- 森崎和花さん
支援員
- 小林雅典さん
支援員

オムツを譲ってください

グループホームで暮らしている重度・高齢の仲間たちがオムツを必要としています。
今までは、市町村から支給を受けていたのですが、今年から、全て自己負担になっ
てしまっていました。

好きなものを買いたくても、高額なオムツの購入が優先になってしまっています。
もし、お家に不用のオムツがありましたら、ぜひお譲りください。
よろしくお願いいたします。

- サイズ 男女兼用 L サイズ または LL サイズ
- 共同生活援助 まちなかホーム 八木 (73-3100)



ハスの実だより
あとがき



いよいよ冬到来です。楽しみなお正月ももうすぐやってきましたが、お正月と言えばおせち料理ではないでしょうか？実家の両親からは「おせちは高くて美味しくもないもの」と洗脳されて生きてきたため、お重を買うことはありませんでした。しかし去年、主人のついでで試しに購入したところ、その美味しさには驚かされました！一品一品におめでたい言われがある話にも花が咲き、あらためて日本の文化の素晴らしさを実感しました。マスクの使用や手洗いなど感染予防対策を行いつつ、日本の文化を楽しみながら冬の寒さを乗り切っていきたいと思います。 吉江ゆかり

社会福祉法人
ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
 - *「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
Eメール: allhasunomi@hasunominoie.com
 - *「美咲ホーム」
〒913-0058 福井県坂井市三国町新宿2丁目2-18
電話・FAX(0776)97-8511
 - *「空と海」
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ脇1丁目4-3
電話・FAX(0776)81-4746
 - *「友歌里」
〒919-0628 福井県あわら市大溝3丁目15-17 102
電話・FAX(0776)73-3129
 - *「希陽(こはる)ホーム」
〒919-0628 福井県あわら市大溝2丁目25-1
電話・FAX(0776)73-5203
- 生活介護事業
 - *「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援B型事業
 - *「わくわくワーク」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19
電話(0776)78-7750 FAX(0776)78-7751
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
 - *「ハスの実パン工房」
〒919-0621 福井県あわら市市姫1丁目608-2
電話(0776)73-7300 FAX(0776)73-7301
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 地域生活支援センター ハスの実
 - *「相談支援事業所 ハスの実」
 - *「ハスの実ヘルパーステーション ともに」
 - *「まちなかホーム事務所」
〒919-0628 福井県あわら市大溝2丁目25-1
電話(0776)73-3100 FAX(0776)73-3122
Eメール: center@hasunominoie.com

ハスの実 読者クイズ

冬本番!! 温かい食べものがおいしい季節ですね。

さて今月も恒例の

ハスの実 読者クイズ

第9回は施設整備事業からの出題です。

今月号にも掲載されていますが、今回の施設整備事業のなかに新たにできるゾーンで、仲間自身が好きなときに好きなことでアートを楽しめる空間を提供していきます。

その名前は

「○○○○○工房」

ひらがな5文字でお答えください。

それでは○の中に入る答えを書いてどんどんご参加お待ちしております。確率高いですよ。



応募方法

電話 または はがきか Mail (honbu@hasunominoie.com) にクイズの答えと住所・氏名・連絡先を記入の上ご応募ください。締切りは1/20(当日消印)。正解者の中から抽選によりハスの実の家オリジナル商品をプレゼント。ふるってご応募ください。

第8回読者クイズの答えは「ねがい」でした。ご応募いただいた方の中からあわら市のMさん、坂井市のKさん、福井市のYさんに商品を発送させて頂きました。

★こちらを読み取って
ハスの実FBに
アクセスしてね!!

